取扱説明書１

器具品番　HC3013C

リモコン式

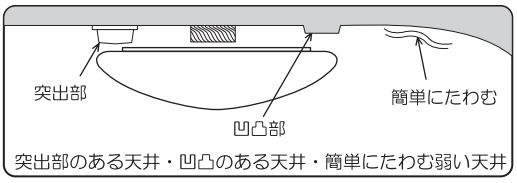
商品を取付ける前に必ずご確認ください

定　格

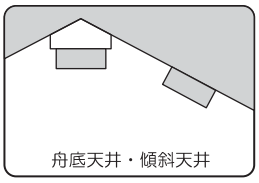
使用電圧	周波数	消費電力	待機電力	常 夜 灯
AC100V	50/60Hz共通	51W	約１W以下	2W以下

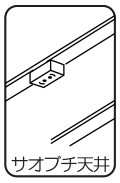
●このような天井、配線器具には取付できません

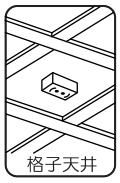
●取付けできない天井

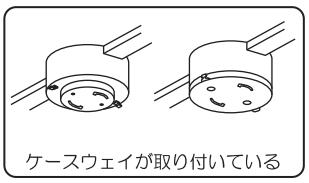


突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井


舟底天井・傾斜天井

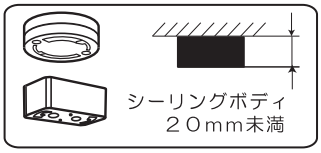

サオブチ天井

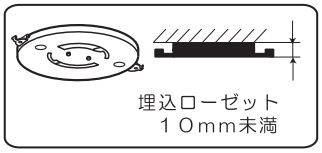

格子天井

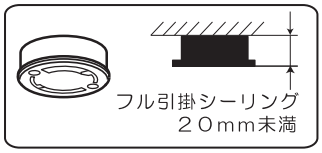

ケースウェイが取り付いている

※天井面に密着しないため、本体がグラグラして危険です。

●配線器具の出しろが少ないもの

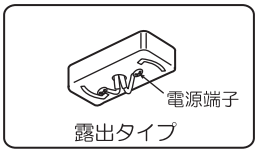

シーリングボディ
２０mm未満


埋込ローゼット
１０mm未満

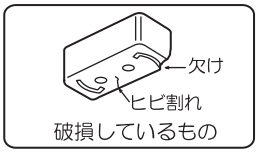

フル引掛シーリング
２０mm未満

フル引掛ローゼット
８mm未満

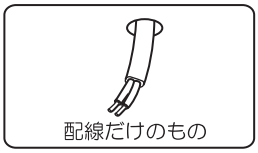
●取付けできない配線器具等



露出タイプ



破損しているもの

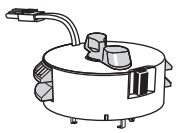

配線だけのもの

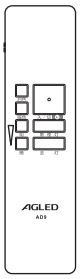
シーリングハンガー付きのもの

ぐらぐらしているもの

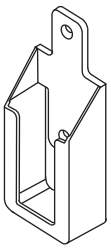
※交換には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店・電気店にご相談ください。

●付属部品


アダプタ
（品番：LC-104N）



リモコン送信機
（品番：AD9）


リモコンホルダー

単３形乾電池
（２本）

木ネジ
（２本）

SEL036730

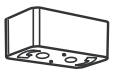
●各部のなまえと器具の取付けかた　※必ず電源スイッチを切ってくださ

① 天井の配線器具を確認する

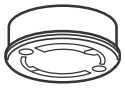
取付けできる配線器具

引掛埋込ローゼットAタイプ

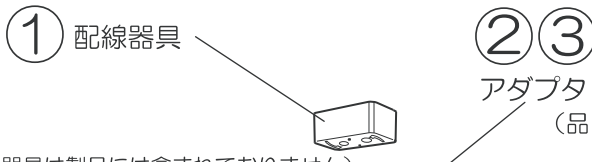
引掛埋込ローゼットBタイプ


角型引掛シーリング

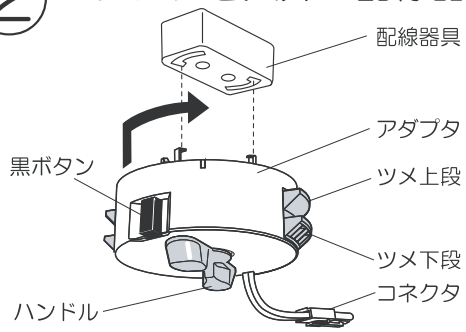
丸型引掛シーリングAタイプ


丸型引掛シーリングBタイプ

※上記以外の場合は電気工事店に取付けを依頼してください。
※ぐらつきがないか必ず確認してください。



② アダプタを天井の配線器具に取付ける



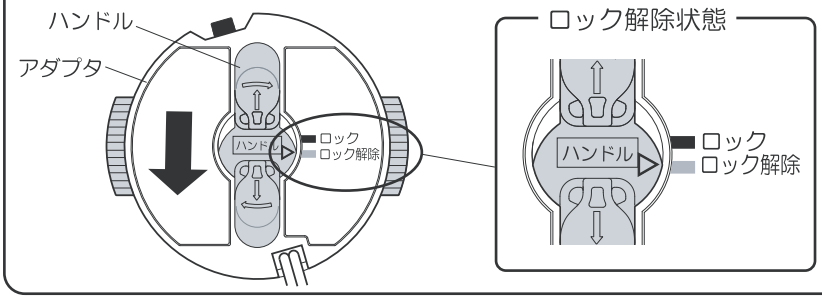
注 確認

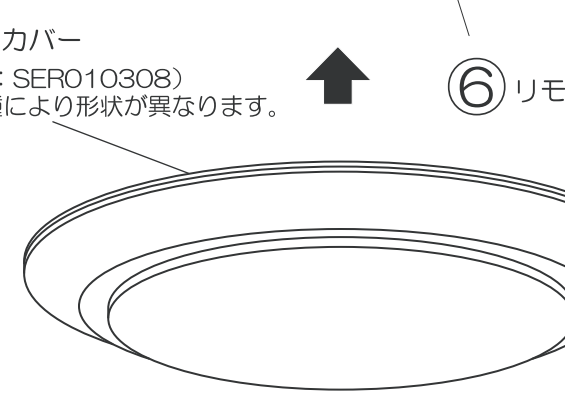
※カチッと音がするまで
右へまわす。

※取付け後、黒ボタンを
押さずに左へまわして
はずれないことを
確認する。

③ アダプタのロック解除の確認

※ハンドルの▶印が「ロック解除」の位置（赤色）に合っているか確認する。
※合っていない場合は、ハンドルをスライドさせ解除状態にする。

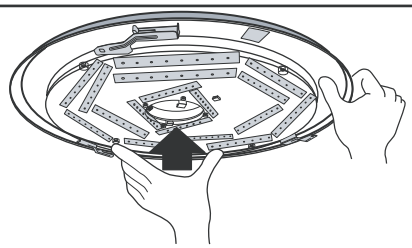


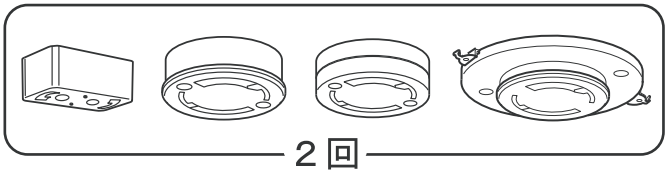


④ 本体をアダプタに合わせ押し上げる

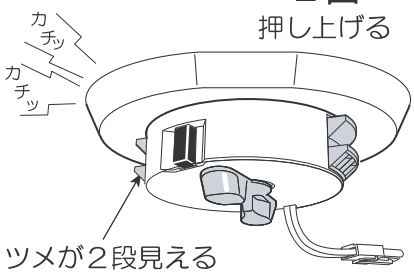
本体中央付近を強く押し上げてください。

⚠警告	天井配置器具によって押し上げる回数が違います。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

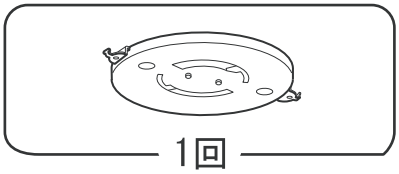




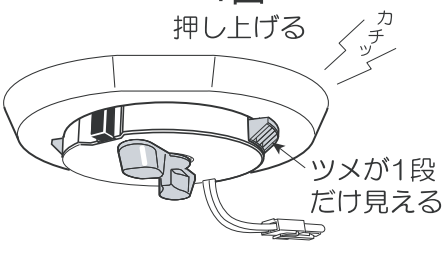
2回
押し上げる



⚠警告
左右のツメが確実に見えることを確認してください。

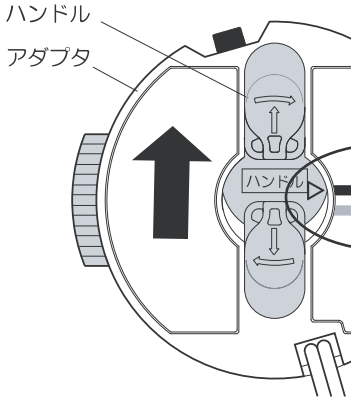


1回
押し上げる



●アダプタをロックして

※ハンドルの▶印が「ロック」の
までハンドルを矢印の方向にス



| ⚠警告 | 本体のガタつきがない
しないか確認してくた |
|---|---|

い。

番：LC-104N）

○○○○○○○○○器具
○○○−○○○○○

コンチャンネル

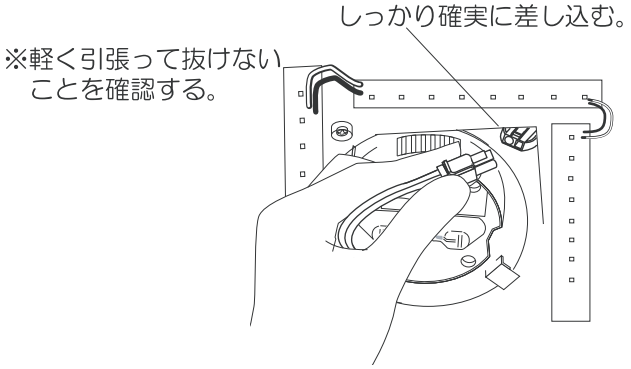
てください

位置（青色）にくる
スライドさせる。

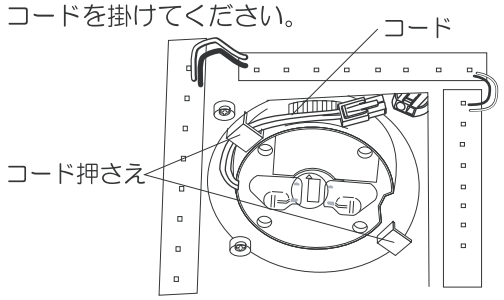
ロック
ロック解除

か、容易に回転
ださい。

⑤コネクタを接続する

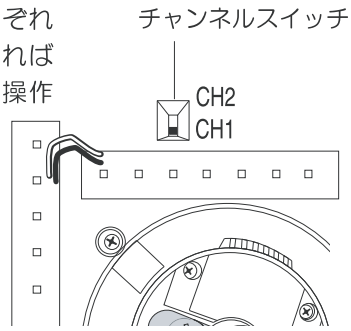


※コードの影が映る場合はコード押さえに
コードを掛けてください。



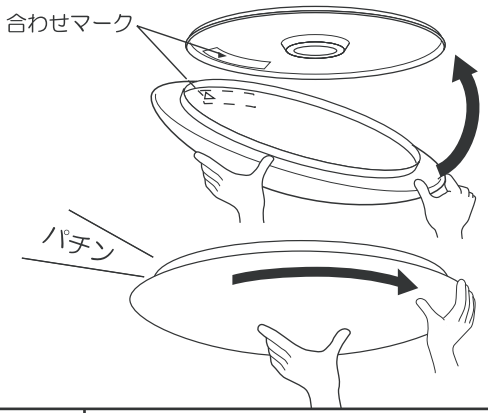
⑥リモコンチャンネル設定

２台ご使用の場合、それぞれ
違うチャンネルを設定すれば
１台のリモコン送信機で操作
できます。



⑦カバーを取付ける

▲印を合わせて中央部をささえながらパチンと
音がして止まるまで右にまわす。



⚠警告	カバーは確実に取付けてください。 落下してけがの恐れがあります。

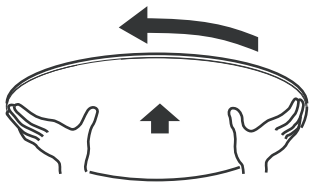
※本体が回転する場合は④の「本体をアダプタ
にあわせて押し上げる」を確認してください。

●器具のはずしかた

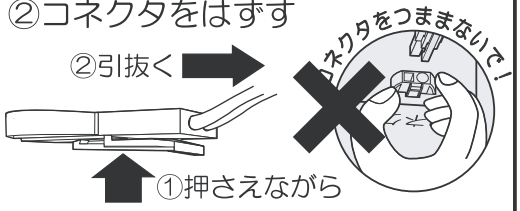
※必ず電源スイッチを切ってください
※消灯直後はランプや本体が高温になって
います。冷えてからはずしてください。

①カバーをはずす

軽く押し上げながら左にまわす。

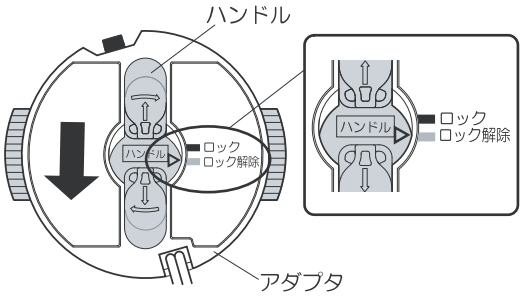


②コネクタをはずす



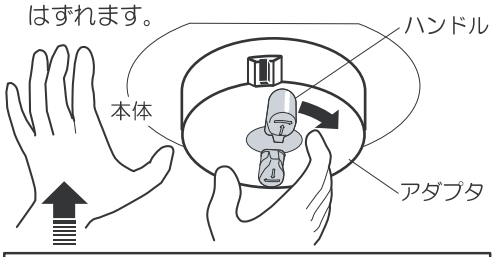
③アダプタのロックを解除する

※ハンドルの▷印が「ロック解除」の位置（赤色）
にくるまでハンドルを矢印の方向にスライドさせる。



④本体をはずす

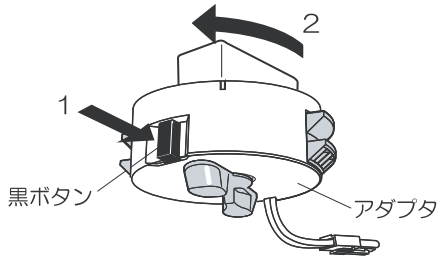
※必ず片手で本体を支えながらもう一方の手で
ハンドルを時計回りに右へ回転すると本体が
はずれます。



注意	必ず片手で本体を支えてください。 本体の落下によるケガの原因となります。

⑤アダプタをはずす

黒ボタンを押しながら左にまわす。



| 注意 | 黒ボタンを押さずに強く
まわすと破損します。 |
|---|---|

●メモリー機能について　※壁付き調光器(ライトコントロール)では使用しないでください。

●壁スイッチやリモコン送信機で点灯されますと、消灯前の明るさ（調光・調色）で点灯します。

点灯状態（調光・調色） → 壁スイッチOFF / リモコンOFF → 消　灯 → 壁スイッチON / リモコンON → 消灯前の点灯状態（調光・調色）

※1　常夜灯から消灯した場合、常夜灯点灯前の明るさで点灯します。

点灯状態（調光・調色） → 常夜灯 → 壁スイッチOFF / リモコンOFF → 消　灯 → 壁スイッチON / リモコンON → 常夜灯の前の点灯状態（調光・調色）

※2　サーカディアンモードを使用中に消灯した場合、サーカディアンモード設定前の明るさで点灯します。(サーカディアンモードは解除されます。)

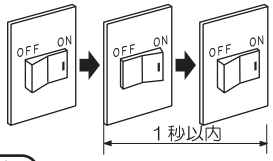
点灯状態（調光・調色） → 設　定 → サーカディアンモード → 壁スイッチOFF / リモコンOFF → 消　灯 → 壁スイッチON / リモコンON → サーカディアンモード設定前の点灯状態（調光・調色）

●リモコン・壁スイッチの使い方

壁スイッチで操作する

※壁スイッチにライトが付いたタイプでは切替えできない場合があります。

●壁スイッチをすばやく(1秒以内)OFF→ONさせると点灯状態が切替えられます。



壁スイッチでの点灯順序

消灯 → 壁スイッチON → 全光（暖色:100% 白色:100%） → 調光1（暖色:25% 白色:25%） → 調光2（白色:100% 暖色:0%） → 調光3（暖色:100% 白色:0%） → 常夜灯 → 全光

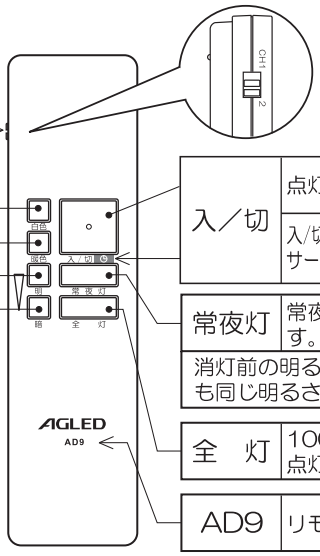
●壁スイッチを2秒以上ＯＦＦにしておくと次にＯＮさせると消灯前の状態になります。※常夜灯の場合のみ調光3の状態になります。

リモコン使用上のご注意

●インバーター照明器具が取り付けられた部屋でのご使用の場合は**インバーター照明器具から1.5m以上離して取り付けてください。**
●1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
　2台の照明器具を1つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。
●本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。
●照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
●リモコン送信機は器具に向けて操作してください。
●リモコン部の回路が約1W以下の電力を消費しておりますので、節電のため長期外出時には壁スイッチを切ることをお勧めします。
●壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。
●壁スイッチ、送信機のボタン及び電源のON/OFFを続けてくり返し操作しないでください。故障の原因になります。
●電源の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。
●リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布でふいてください。
●大型液晶テレビやプラズマテレビに近接している場合、リモコン送信機で操作できない場合があります。

リモコンで操作する

チャンネル切替スイッチ	CH1/2
器具のチャンネルに合わせます。2台ご使用の場合、各器具に合わせて切り替えます。（対応機種に限る）	
光の色を調節するボタン	白色 暖色
光色が変わります。白色ボタンで光色は昼光色側へ。暖色ボタンで光色は電球色側へ変わります。長押しすると連続的に調整できます。	
明るさを調節するボタン	明 暗
明るさが変わります。長押しすると連続的に調整できます。	

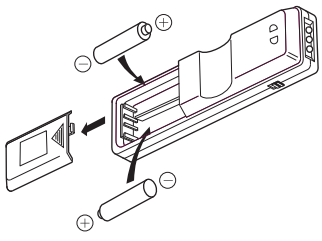


入／切	点灯、消灯します。 入/切ボタンを長押しするとサーカディアン モードになります。
常夜灯	常夜灯のON／OFFができます。 消灯前の明るさを記憶するので、次回も同じ明るさで常夜灯を点灯できます。
全　灯	100%の明るさで点灯します。
AD9	リモコン品番

⚠ 注意
●操作距離は天井、壁の色や材質によって変わります。
●リモコンを落としたり強い衝撃を与えないでください。
●室温が低いとリモコンが効きにくくなることがあります。
●短時間でも停電が起こると復旧時に点灯状態が切替わる場合があります。
　長時間使わないときは、壁スイッチを切ることをお勧めします。
●常夜灯点灯時に「入／切ボタン」を押すと、常夜灯点灯前の状態になります。

リモコン品番：AD9

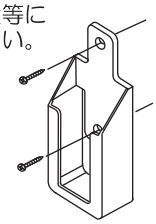
●電池の交換方法



⚠ 注意
●新旧、異種の電池を混用しないでください。
●電池の ⊕ ⊖ は正しく入れてください。
●単3形乾電池をご使用ください。
●使用後は可燃ゴミに入れないでください。

●ホルダーの取付け方

付属の木ネジで壁等に取り付けてください。



保管用

取扱説明書2

このたびは当社照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。ご使用前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、十分理解して正しくお使いください。
この取扱説明書は他の商品と共通になっているため、該当しない項目があります。あらかじめご了承ください。

工事店様へ…この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

●ご注意とおねがい

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するため、お守りいただくことを説明しています。

警告
■施工には電気工事士の資格が必要です。
必ず工事店・電気店に依頼してください。

警告
■部品の追加改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因となります。
■器具のすきまに金属類（針金など）を絶対に
差し込まないでください。感電の危険があります。

警告
■定格電圧　日本国内交流100V専用です。
海外では使用できません。
過熱し、火災の原因となります。

禁止
■この器具は屋内専用です。
屋外で使用しないでください。
火災・感電の原因になります。
５℃～３５℃の範囲内で使用してください。

禁止
■浴室などの湿気の多い場所や常時温度の
高い場所では使用しないでください。
絶縁性能が低下し、火災・感電の原因
となります。

注意
■煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま
使用すると、火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切ってください。
異常状態がおさまったことを確認して工事店､電器店
に修理を依頼してください。

警告
■このような場所では使用しないでください。
●ストーブなど、温度の高くなる
ものの真上やその付近。
故障や火災の原因となります。

注意
■転居や清掃のため、本体を外し、再度取り付ける
場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付け
てください。
不完全に取り付けると、落下してけが・物損の原
因になることがあります。

禁止
■カバーなどが破損した場合、けがの原因になる
ことがありますので、破損部分に直接手や肌など
を触れないでください。

警告
■器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与え
ないでください。
器具の落下によるケガの原因となります。

注意
■点灯中および消灯直後は器具が熱いので手や肌など
を触れないでください。器具を触るとやけどの原因
になることがあります。

注意
■山間部や鉄筋建物など電波の弱い地域では、ラジオ
や屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があり
ます。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを
器具から離してお使いください。

注意
■器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、
他の家電品の赤外線リモコンが作動しない場合があり
ます。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電
品を器具から離してお使いください。

禁止
■壁付調光器のある回路では使用できません。
照明器具が故障します。

注意
■ 安全上、LED光源を直視しないでください。

注意
■ LED光源は器具組込みの為、交換できません。

注意
■ LED光源にはバラツキがあるため、商品ごとに
発光色、明るさが異なる場合がありますのでご
了承ください。

プルスイッチ付きの場合、壁スイッチのみで使用される場合は、時々プルスイッチの操作を行ってください。
スイッチ機能が損なわれ、故障することがあります。

★点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
★天井の材質や構造によって、天井が変色する場合があります。

●故障のときの処置

故障かなと思ったら　※下記の内容をご確認ください

現　象	考えられる原因	処　置
LED光源が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにしてください
	ブレーカーがOFFになっている	ブレーカーをONにしてください
リモコンで操作できない	リモコンの電池の寿命	リモコンの電池を交換してください
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れてください
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具に合わせて操作してください
	コネクタが抜けている	コネクタを接続してください
帰宅すると点灯していた	リモコン送信機でOFFにして外出された場合、雷・瞬時停電・停電復帰などで、電源が一瞬「ON→OFF」となり、壁スイッチの操作と同じ現象が起こっている	外出や長期使用されない場合は壁スイッチをOFFにしておいてください
異常点灯（光源のチラツキ、自動的に点灯状態が変わる、操作しても点灯状態が変わらない）	ノイズによるマイコンの動作異常	①壁スイッチを一旦切り、再度入れてください ②ブレーカーを一旦切り、再度入れてください
本体からジーッという小さな音がする	LED光源に流れる電流の入／切制御により調光しているが、電流の変化に応じてコイルがうなり音を発生させる	正常な動作です
点灯・消灯時にカチッという音がする	点灯・消灯時のスイッチ音	正常な動作です
明るさが変化したり、常夜灯が点滅したりするを繰り返す	**工場検査モード（デモモード）になってしまっている**	**常夜灯ボタンを長押し（5秒以上）して解除してください**

上記の処置をおこなっても現象が続く場合には、電源を切り、お買上げの販売店またはお客様相談センターへ器具の型番（器具の銘板に表示してあります）と現象を連絡していただき、ご相談ください。
尚連絡されるときはお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。

●お問い合わせ

■お買い上げいただきました販売店、
工事店または、右記までご連絡ください。

●お客様相談センター
フリーダイヤル
0120 - 159087
（受付時間：AM9：00～PM5：00/土・日・祝定休）

アグレッド株式会社

本社　〒664-0845
兵庫県伊丹市東有岡2-16

SEL036680

●お手入れについて

※必ず電源を切ってしばらくしてから行ってください。

●器具には寿命があります。器具交換の目安は、使用環境によりことなりますが約８～１０年です。

●設置してから８～１０年経ちますと、外観に異常がなくても内部の劣化が進んでいます。
点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度３０℃、１日１０時間点灯、年間３０００時間点灯。（JIS C8105-1解説による。）

●周囲温度が高い場合は、寿命が短くなります。

●３年に１回は、工事店などによる点検をお受けください。

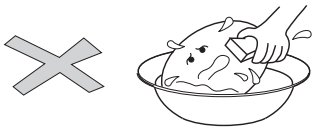
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

●不具合がありましたら、そのまま使用しないで、工事店、電器店に修理を依頼してください。

●器具を清掃する際は、乾いた柔らかい布か、水で浸した柔らかい布をよく絞ってから拭いてください。

●シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、
殺虫剤をかけないでください。

●器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは
絶対にやめてください。火災・感電の原因のなります。



●電池は半年を目安に取り替えてください。

●安全のための自主点検

長期ご使用の場合は商品の点検をおすすめします。

・スイッチを入れても，時々点灯しないときがある。
・プラグ，コード，又は本体を動かすと点滅する。
・プラグ，コードなどが異常に熱い。
・こげくさい臭いがする。
・点灯時に漏電ブレーカが動作することがある。
・コード，ソケット及び配線部品に傷み，ひび割れ，又は変形がある。

●補修部品のご案内

補修部品はお買い上げの販売店、弊社お客様相談センター、弊社ホームページでお取扱をしております。取扱説明書１に記載されております「器具品番」およびお求めになる補修部品の「品番」をお知らせください。有償、無償の区分につきましては、「アグレッド株式会社照明器具保証書」をご覧ください。